

第25回 プレイエル 小音楽会

The 25th-PLYEL-Mini-Concert in-CHOKOKAN

2020年11月29日(日)

於 徴古館 演奏 大坪健人さん

午前の部

11⁰⁰

午後の部

14⁰⁰

要予約



(0952)
23-4200

料金 1,500円(小学生以下は1,000円)

定員 各回30名(要事前予約)

PLYEL



徴古館

The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA

profile

大坪 健人

Otsubo Taketo



佐賀市出身。

佐賀西高を卒業後、京都市立芸術大学に入学。

学部と大学院を卒業し、ドイツへ留学。

2019年ドレスデン音楽大学を最高点の主席で卒業。

留学中に多数のコンサートに出演する。

第25回宝塚ベガ音楽コンクール第3位。

第38回佐賀県音楽協会新人賞受賞、第22回フッペル鳥栖ピアノコンクール第3位、月光賞受賞、佐賀銀行文化財団新人賞など、その他多数受賞。

2014年日本演奏家連盟主催で九州交響楽団とリストのピアノ協奏曲を、今年の10月にはアルモニア管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲「皇帝」を共演。

現在、佐賀を中心に演奏活動を展開する。

program

ショパン 作曲
エチュード
作品 10・25より

ドビュッシー 作曲
ベルガマスク組曲より
第2曲「月の光」

ベートーヴェン 作曲
ピアノソナタ第19番
「テンペスト」第3楽章

ラフマニノフ 作曲
前奏曲 作品3-2「鐘」

ショパン 作曲 ゴドフスキー 編曲
「左手の革命」

ほか

PLEYEL

イグナツ・プレイエル(Ignace Joseph Pleyel 1757—1831)により、1807年パリに創設されたプレイエル社が製造するピアノ。プレイエルには、打弦音をできるだけおさえる設計がほどこされているため、余計な雑音を消し、木のあたたかい響きをふんだんに出すことにより、香りたつような音色を醸し出します。1832年に、プレイエルの音楽堂でパリにおける最初の演奏会を開いたピアノの詩人ショパンは、それ以後この楽器を愛し、生涯使い続けたといわれています。プレイエルの伝統はデリケートな音色や楽なタッチに生かされ、フランスにおけるもっとも優れたピアノのひとつとされています。



徴古館のピアノ プレイエルは、朝香宮鳩彦王第一王女紀久子様が昭和6年(1931)、鍋島直泰様(13代)に降嫁される際に婚礼調度としてフランスで誂えられたもの。婚礼調度目録によると、「マークヲ撰バズ、音ノ良キモノ」と記されています。フランスからもたらされたプレイエルのやわらかな音色は、渋谷・神山にあった鍋島邸の居間で、また大磯の別荘で御一家に癒しのひと時を与えたことでしょう。1年半に及ぶ修復の完成を記念して2001年から開催しているプレイエル小音楽会も、今回で24回目を迎えます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、予定が変更となる場合があります。

開催中の展覧会 | 当日は、開催中の展覧会もご観覧いただけます

「愛娘への手紙 —『名君』鍋島直正の素顔」展

10代藩主鍋島直正公は長女貞姫(みつひめ)と13年ほど手紙を交わし続けました。本展は、父が送った196通をまとめた資料集『愛娘への手紙』出版の記念展です。直正公が自らの言葉を自筆で綴った手紙からは、娘の心身を案じる親心などの「素顔」が見えてきます。直正公は「領内の者は、皆、子の如し」と述べたほど領民想いの藩主で、時に「名君」と称えられます。藩主として領民(「子」)を、父として愛娘をどう思ったのか。なぜ、「名君」なのか? —その答えがここにあります。



11月24日(火) — 1月23日(土)

開館時間 9:30—16:00(日・祝・年末年始休館)

入館料:300円(小学生以下は無料)



交通アクセス |

無料駐車場あります

- 長崎自動車道 佐賀大和I.C.から、市街方面へ車で約20分
- 佐賀駅バスセンターから、市営・昭和・祐徳の各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車
- JR 佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

お問い合わせ |

info@nabeshima.or.jp
http://www.nabeshima.or.jp
(0952)23-4200 (公益財団法人鍋島報効会)



徴古館
The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA